

第 31 回近代柔道杯全国中学生柔道大会

【大会要項】

平成 29 年 12 月 22 日

公益財団法人 全日本柔道連盟
株式会社 ベースボール・マガジン社

1、大会趣旨

異なる地域の中学生との交流や多くの強豪選手との試合を通して、柔道を学ぶ生徒に夢を与え、逞しく生き抜く力を身に付けさせるとともに、競技力の向上と柔道界の普及、振興を目的とする

2、大会名称

第31回近代柔道杯全国中学生柔道大会

3、大会会場

埼玉県立武道館（埼玉県上尾市日の出 4-1877） TEL：048-777-2400

4、大会日程

平成30年3月24日（土）～平成30年3月25日（日）

5、主催

（公財）全日本柔道連盟、（株）ベースボール・マガジン社「近代柔道」

6、後援

（公財）講道館、（公財）日本中学校体育連盟

7、主管

埼玉県柔道連盟、（株）BBMスポーツコミッション

8、運営協力

埼玉県中学校体育連盟柔道専門部、東京都中学校体育連盟柔道競技部、平成国際大学、春日部工業高校、上尾鷹の台高校、（株）ジーエスシー

9、スケジュール

【平成30年3月24日（土）】計量・予選リーグ

08:30 選手・監督入館

09:00 監督会議（会場：第一道場 09:30 終了予定）

非公式計量（会場：剣道場 09:30）

09:30 計量（会場：剣道場 11:00 終了予定）

11:00 審判会議（会場：第1会議室 終了 11:30）

12:00 開会式（会場：主道場）

12:15 試合開始（会場：主道場 終了 17:00）

【平成 30 年 3 月 25 日（日）】決勝トーナメント

- 08:45 選手集合
- 09:00 開館
- 10:00 審判会議（会場：会議室 終了 10:45）
- 11:00 試合開始（会場：主道場 終了 15:00）
- 15:30 閉会式・表彰式（会場：主道場 終了 16:00）

10、参加資格

- (1) 出場するチームは全日本柔道連盟に今年度の団体登録をしていること
- (2) 選手は、競技者登録をしており、大会当日に同一中学校の 1、2 年生に在籍しているもの

※同一中学校からの複数チームの出場は認める その場合は、チーム名の最後に順番にアルファベットを割り当てる（例；近代柔道中学校 A、近代柔道中学校 B）

※単一校でチームを編成できない場合は、合同チームで出場できる ただし、同一市区町村内で 2 校の合同チームであること

※外国人学校の出場も可能（海外チームの招聘については予定しておりませんが、自費での参加については可能です 海外チームの参加資格は主催者が協議のうえ決定する）

※参加資格の特例（全国中学校柔道大会と同様）

・学校教育法第 134 条の各種学校（1 条校以外）に在籍し、都道府県中学校体育連盟に参加を認められた生徒であること

・参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること

①全国大会の参加を認める条件

- ア)（公財）日本中学校体育連盟の目的および長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること
- イ) 生徒の年齢および就業年限が、我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること
- ウ) 参加を希望する学校にあたっては、運動部活が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教師の指導のもとに、適切に行われていること

②全国大会に参加した場合に守るべき条件

- ア) 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること
- イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長または教員が生徒を引率すること また、万一事故の発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと

11、監督、コーチおよび引率者

- ・監督は、全柔連公認指導者資格（B 指導員以上）を有し、今年度の全柔連登録を完了した者とする
- ・コーチは、全柔連公認指導者資格（C 指導員以上）を有し、今年度の全柔連登録を完了した者とする
- ・上記の場合の監督・コーチは、資格のあるものであれば当該校所属でなくても可とする
- ・単独の学校で複数チーム出場する場合は、当該校に限り監督、コーチの兼務を認める
- ・引率者は、監督、コーチが出場する学校の専任教員でない場合に限り学校長が認めた専任教員 1 名を帯同させることができる

12、計量について

日時／3 月 24 日（土） 9:30～11:00 ※非公式計量は 9:00～9:30 で行う

会場／埼玉県立武道館 剣道場

※計量を終了したチームから集合写真撮影を行う

13、チーム編成

【オープンの部】

- ・チームは 1 校単位で編成したチームとする（ただし、1 校でチームを編成できない場合は、同一市区町村、2 校以内の合同チームで出場が可能／詳細は合同チーム出場規定を参照のこと）
- ・1 チームの人員は監督 1 名、コーチ 1 名、選手 8 名（補欠 3 名を含む）とする
選手は最低 3 名とし、監督不在のチームは出場を認めない
- ・出場順は、先鋒より体重の軽い選手とする（選手が 5 名に満たない場合は体重区分の範囲内で前詰めとなる）
- ・選手編成は、先鋒・次鋒＝66kg 以下、中堅＝81 kg 以下、副将・大将＝体重無差別とする

先 鋒	<	次 鋒	<	中 堅	<	副 将	<	大 将
		↓		↓		↓		
		-66Kg		-81Kg		無差別		

- ・女子選手の参加することを認めるが、その選手は女子の部との二重登録はできない

【女子の部】

- ・チームは 1 校単位で編成したチームとする（ただし、1 校でチームを編成できない場合は、同一市区町村、2 校以内の合同チームで出場が可能）
- ・1 チームの人員は監督 1 名、コーチ 1 名、選手 5 名（補欠 2 名を含む）とする

選手は最低2名とし、監督不在のチームは出場を認めない

・出場順は、先鋒より体重の軽い選手とする（選手が3名に満たない場合は体重区分の範囲内で前詰めとなる）

・選手編成は、先鋒=52kg以下、中堅=63kg以下、大将=体重無差別とする

先鋒	<	中堅	<	大将
↓		↓		↓
-52Kg		-63Kg		無差別

14、選手変更

・怪我や病気により大会申し込み締め切り後に登録選手を変更する場合は、学校長の印を付した選手変更届を監督会議（24日（土）9:00開始）までに受付に提出すること

これ以外の登録選手変更は認めない

・監督会議終了後の選手変更は、登録された補欠から行うこと

・試合が始まってからの選手変更についても、試合に出場する順番は体重の軽い選手からとする。また、その場合も、先鋒・次鋒が-66kg、中堅が-81kg（女子は先鋒が-52kg、中堅が-63kg）であること

・一度退いた選手は、その後再出場できない

・複数チームで出場する学校において、出場登録したチーム間での選手の異動を伴う選手登録の変更は認めない

15、試合審判規定

・2017年12月まで施行されていた国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」を適用する

・試合時間は3分間とする

16、試合方法

・試合は1チーム5名（女子は3名）の点取り戦とする

・3または4チームずつに分け、リーグ戦を行い、各組1位のチームによって決勝トーナメント戦を行う

【予選リーグにおけるチーム間の勝敗の決定方法】

ア) チーム間における勝ち数による

イ) ア)において同等の時は、勝ちの内容によって決定する

ウ) イ)において同等の時は、引き分けとする

【予選リーグ内の順位の決定方法】

- ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による
- イ) ア) において同等の時は、勝ち数の合計による
- ウ) イ) において同等の時は、勝ちの内容により決定する
- エ) ウ) において同等の時は、負け数の合計により決定する
- オ) エ) において同等の時は、負けの内容により決定する
- カ) オ) において同等の時は、代表選手を自由に選出して代表戦を行う
代表戦は3分間の本戦を行い、得点差が無い場合はゴールデンスコア方式の延長戦によって決定する

【決勝トーナメントの勝敗の決定方法】

- ア) チーム間における勝ち数の数による
- イ) ア) において同等の時は、勝ちの内容によって決定する
- ウ) イ) において同等の時は、引き分けの個人対戦をゴールデンスコア方式による再試合を行い、勝敗を決する。なお、引き分けが複数の場合は抽選により、1組の再試合を行う

17、柔道衣について

- ・(公財) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿)を着用すること(最新の公認柔道衣は全日本柔道連盟のホームページを参照のこと)
- ・柔道衣(上衣、下穿)のIJFラベルの外枠が赤いものか、「JU0000」と赤字で表示された全柔連認証番号ラベルのみ使用可とする
- ・帯はIJFラベルの外枠が「赤」か「青」のものか、「JU0000」と赤字と黒字で表示された全柔連認証番号ラベルのみ使用可とする
- ・競技中、規格外の柔道衣着用が判明した場合は失格とする
- ・(公財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること
- ・女子の黒帯は、今大会に限り白線入り帯との混在を認める
- ・ゼッケン縫付け場所は後ろ襟から概ね5~10cm下部に位置する場所に縫付ける。また、対角線にも強い糸で縫付ける
- ・ゼッケンを縫付けていない選手は出場出来ない

18、表彰

- ・優勝チームには近代柔道杯、賞状、メダル(全員)を授与する
- ・2位~3位チーム(2チーム)には、カップ、賞状、メダル(全員)を授与する
- ・オープンの部10名、女子の部6名は、優秀選手としてトロフィーを授与する
- ・オープンの部、女子の部で最も一本勝ちの多い選手各1名を一本勝ち大賞としてトロフ

イーを授与する 準決勝に進出した8チーム(女子は準決勝に進出した選手を対象とする)の選手の中から選考するものとし、試合は予選リーグ第1回戦から最終試合までの全試合を対象とする また、一本勝ちの数が同数の場合は次の順によって決定する

- (ア) 一本勝ちが同数の場合は、一本勝ち率によって決定する
- (イ) 一本勝ち率が同等の場合は、内容によって決定する
- (ウ) 一本勝ち内容が同等の場合は、時間によって決定する
- (エ) 時間も同等の場合は、同時受賞とする

19、その他

(1) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること 感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、医療機関において、迅速かつ的確な治療を行うこと もし、皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、本大会への出場ができない場合もある

(2) 新型インフルエンザに集団感染(2名以上)したチームは、他チームへの影響を考慮した対応をとること

(3) 脳震盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守すること

- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(なお、至急専門医の精査をうけること)
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること
- ④上記に該当する選手がいた場合、指導者は大会事務局に書面により事故報告書を提出すること

20、参加費

オープンの部:1チーム 14,040円(税込・保険料他)

女子の部:1チーム 10,800円(税込・保険料他)

支払先:大会参加申込書をお送りいただいた後に、各学校へご案内いたします

2月9日(金)締切

21、申込方法

・近代柔道1月号(12月22日発売)、2月号(1月22日発売)内の参加申込用紙に必要事項を記入、学校長の捺印のうえ、近代柔道杯事務局・FAX(03-5544-8291)へ申し込むこと(ベースボール・マガジン社のスポーツ総合サイト「スポーツクリック」内の「柔道」のページ(<http://www.sportsclick.jp/judo/>)より大会要項をよく確認したうえで、申し込むこと(2月9日(金)締切)

・参加申込用紙を近代柔道杯事務局に提出後、「スポーツクリック」内の「柔道」のページ (<http://www.sportsclick.jp/judo/>) より、出場選手登録用紙（エクセルファイル）をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、事務局・E-mail アドレス (kinjyuhai@bbmjapan.com) へ送付のこと（2月9日（金）締切）

22、個人情報、肖像権の取り扱いについて

- ・参加申込用紙、出場登録用紙に記載された個人情報は、大会プログラム、大会ホームページ、近代柔道に記載される場合があります また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります
- ・本大会において撮影された写真が、大会プログラム、大会ホームページ、近代柔道に掲載される場合があります また、その他の報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります
- ・取得した個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはありません
- ・参加申込書、出場登録用紙の提出により、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をさせていただきます

23、問合せ先

- （株）ベースボール・マガジン社 メディア事業部
TEL:03-5643-3927 担当：老野生、中村、木村
- 近代柔道杯事務局（ジーエスシー内）
TEL:03-5544-8292 FAX:03-5544-8291 担当：齊藤勝
（平日 10:00～18:00）